



21世紀に生まれ育つ子供たちのために

画・名嘉 陸稔

龍村 仁監督作品



ガイアシンフォニー 第四番

# 地球交響曲

GAIA SYMPHONY No.4



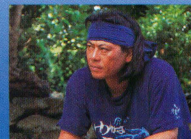
James Lovelock



Gerry Lopez



Jane Goodall



Bokunen Naka

出演●ジェームズ・ラブロック(生物物理学者)／ジェリー・ロベス(レジェンド・サーファー)／ジェーン・グドール(チンパンジー研究者)／名嘉陸稔(版画家)  
声の出演●榎木孝明／木内みどり／内田 稔／榎原良子／時任三郎  
企画協力●ブルース・ベイリー プロデューサー●龍村ゆかり 撮影●赤平 勉 制作プロデューサー●前嶋 輝 制作プロダクション●株式会社フィッツ・ロイ  
ひとコマスポンサープロジェクト協力●株式会社フェリシモ 協力●株式会社マイク 株式会社読売広告社  
製作・配給●有限会社龍村仁事務所 2001年 日本映画／カラー／2時間15分／ドキュメンタリー作品

特別協賛●スウォッチ グループ ジャパン株式会社オメガ事業部／レイケイ株式会社／盛田株式会社  
協賛●日本アムウェイ株式会社／NECビューテック／ロジー株式会社／ガイアエナジー株式会社／株式会社フェリシモ  
アイエヌジー生命保険株式会社／株式会社イムズ／協和発酵工業株式会社／東京電力株式会社





# 地球交響曲

## ガイアシンフォニー第四番

【ひとコマスポンサー運動】

第四番は、映画のフィルムの一コマを、個人、団体、企業に担っていただくひとコマスポンサープロジェクトによって制作されました。

http://gaiasympphony.com

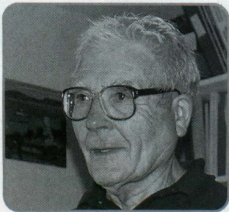
ひとりの人間の小さな魂の変化が、本当に地球の未来に変化をもたらし得るだろうか。そう願い、そう祈る気持ちはあっても、現実それが可能だと言い切ることはとても難しい。21世紀最初の「地球交響曲」第四番をひとコマスポンサー運動でつくと決意した時、少なからず不安もあった。そんな時私は、20世紀末の10年間に全国津々浦々の上映会場でお会いした主催者や観客おひとりおひとりの顔を思い浮かべ、言葉を思い出し、その時与えられた勇気と感動を何度も反芻した。ひとつひとつの小さな魂の連響は必ず現実的な力となり、あるべき地球の未来を創造してゆく。

このことを教えて下さったのは観客自身だったのだ。21世紀は「共に感ずる」シンフォニーから「共に奏でる」シンフォニーへ。

第四番の撮影は奇跡のように順調に進んだ。最初は小さかったひとコマ運動の響きも、しだいに共鳴し増幅されながらついに壮大な交響曲となって響きはじめた。第四番は観客のみなさんと共に奏でる最初のシンフォニーとなった。

21世紀は、人類のあらゆる営みの背後に柔らかな「霊性」が求められる時代になると思う。「霊性」とは、自分の生命が地球の大きな生命の一部分として生かされているという実感のことだ。この実感に裏付けられた小さなひとりひとりの営みこそが地球の健やかな未来を創造してゆく。そして、「霊性」は全ての人々の中に必ず存在する。そのことへの信頼を取り戻すことは我々大人たちの急務だ。

21世紀に生まれ育つ子供たちのために。映画監督 龍村仁



### BE AN INDIVIDUAL

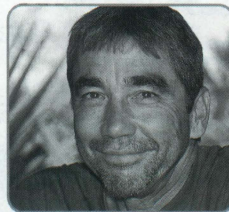
地球は一つの大きな生命体である、という「ガイア理論」の創始者。

「地球交響曲」のシリーズは、彼の理論に勇気づけられて1989年にスタートした。以来、10年間の夢が実り、21世紀最初の「地球交響曲」第四番に、ついにご本人の登場となった。イギリスの田舎の水車小屋を改造した研究室で、生涯、独立科学者として、研究活動を続け、世界的な業績を上げてきた彼の生き方そのものが、ガイアと人間の関係のあるべき姿を示している。

イギリス・コーンウォール地方の深い森、美しい田園風景、荒波うち寄せる海岸、5000年前のストーンサークルで、「地球はなぜ、大きな生命体である、といえるのか」「地球の中で人間の役割・使命はなにか」「地球に心はあるのか」などをやさしく語ってくれる。

“地球はそれ自身が大きな生命体である。全ての生命、空気、水、土などが有機的につながって生きている。これをGAIA (ガイア)と呼ぶ。”

ジェームズ・ラブロック  
James Lovelock  
生物物理学者  
1919年 イギリス生まれ  
撮影地●イギリス南部  
コーンウォール地方



### KEEP PADDLING

ハワイ・オアフ島のノース・ショアでは、高さ20フィートを越える津波のような巨大な波が立つ日がある。日頃は先を争って海に出るサーファーたちも、こんな日ばかりは、この計り知れない地球の力に圧倒されて波をみつめている。そんな時、どこからともなく現れたひとりの小柄な男が、静かに、まるで何事もないうのように海に入っていたかと思うと、強大な波の壁に、美しい一本の白線を描きながら滑り降りてきて、また、何事もなかったように、静かに去ってゆく。それが、ジェリー・ロペスだ。

この巨大な地球の力は、99%人間に死をもたらす力だ。しかし、残された1%に人の生命と調和する道がある。ジェリーは、その道を、自分の身体の内側から選び取る。なぜなのか。まるで、現代の白隠禅師のようなジェリーの生き方と思想。

今はオレゴン州の森の中に住み、地球の水の循環をもたらす雪の中で、スノーボードに乗って、「空」の時を楽しんでいる。

ジェリー・ロペス  
Gerry Lopez  
ビッグ・ウェイブ・サーファー  
1948年 ハワイ生まれ  
撮影地●インドネシア/Gラン  
アメリカ/オレゴン州



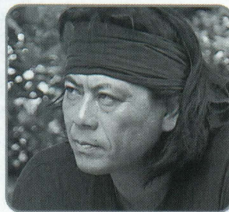
### HOPE, LOVE, UNDERSTANDING

ジェーン・グドールは、1999年、自伝「Reason for Hope」=「森の旅人」を出版した。

その原書の見開き1頁目に故・星野道夫撮影の美しいジェーンのモノクロのポートレートがある。星野道夫とジェーン・グドールは同じ魂を分かち合っていた。40年前、26歳の時、有名な人類学者ルイス・リーキーの薦めで、母ヴァンヌと共にたった二人でタンザニアのジャングルに入り、チンパンジーの観察、研究を始めた。女性としての、生命に対するやわらかく広い視野からの研究は、霊長類学会に大きな変化をもたらした。今は、野生生物の保護、熱帯雨林の保護、子どもたちの教育プロジェクトに全身全霊をささげている。

動物の心、愛、信仰、魂、霊性、進化、科学、等々のテーマを語る。2000年4月、同志であり最大の理解者であった母ヴァンヌが93歳でこの世を去った。

ジェーン・グドール  
Jane Goodall  
野生チンパンジー研究者  
1934年 イギリス生まれ  
子どもたちのための環境教育活動家  
撮影地●アフリカ/タンザニア・  
ゴンベ地方 イギリス/ボーンマス



### 幸せはへりません

名嘉陸穂は、風の伝言が聴ける。鳥と話ができる。樹の精霊(キジムナ)は兄弟だし、海に素潜りで20メートルはゆける。三線はほとんど彼の肉声であり、沖繩空手の達人で、神話を語られば右に出るものはいない。

少年時代に沖繩の孤島で育った彼は、現代人が成長のプロセスで閉じてゆく地球と会話する回路を次々と開きながら成長し、フタ付付くと、版画家になっていた。もし、風が地球の心の運び手であるとするなら、我々は、名嘉陸穂の身体を通して吹き抜けてきた風—作品の中に、遠い祖先の伝言、小さな花の言葉や鳥たちの呼び声、太陽や月からのメッセージさえ聴くことができる。

撮影は奇しくも皆既月食の夜、伊是名島最大の祭りの日と重なった。21世紀に生まれ育つ子どもたちへの風からの伝言を伝えてもらう。

名嘉 陸穂  
Bokunen Naka  
版画家  
1953年 沖繩・伊是名島生まれ  
撮影地●伊是名島  
沖繩県読谷村 他

ガイア

地球の声に耳を傾けて… お正月第一弾ロードショー

12月22日(土)より癒しのロードショー!【1/11(金)迄】

①10:30 ②1:10 ③3:50 ④6:30

※12/31の最終回6:30は休映、元旦(1/1)は休館

前売券¥1500発売中 当日:一般¥1800,大高¥1500,中小シニア¥1000  
劇場窓口、チケットぴあ、ローソン、市内プレイガイドにてお求め下さい。

【入替制】

パラダイスシネマ  
心斎橋アメリカ村BIG STEP 4F  
06(6282)1460

4	日航ホテル	↑至梅田 ●さごう
	心斎橋 の出口 (OPA)	御堂筋 ●大丸
BIG STEP 4F	お茶屋 ラビ	清水町 ●三和BK
	三宮 三宮BK	扇町 ●扇町
		↓至難波